

日本キルギス・ビジネスフォーラム  
小嶋室長ごあいさつ

「日本キルギス・ビジネスフォーラム」の開催にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

まず始めに、今回のフォーラムの開催準備にあたられたジャパロフ経済発展貿易大臣、コイチユマノフ大統領付属投資会議事務局長及びムカンベトフ経済発展貿易省次官をはじめとするキルギス共和国側主催者の皆様と（社）ロシアN I S貿易会、飯塚裕一臨時代理大使をはじめとする在キルギス日本国大使館の皆様のご尽力に、敬意を表します。

日本とキルギスとの関係は、1992年の外交関係の樹立以来着実に進展し、キルギス日本人材開発センターを通じた交流等、相互の協力関係は深まりつつあります。しかしながら、二国間の経済関係については、依然として低調であるのが現状です。

こうした中、一昨年11月にバキエフ大統領がコイチユマノフ大統領付属投資会議事務局長を伴って来日され、その際、キルギス共和国貿易・投資セミナーが開催されました。このことは、日本企業にキルギスへ目を向けさせる好機になったと考えております。

また、昨年7月の山本香苗経済産業大臣政務官のキルギス訪問の際、バキエフ大統領やジャパロフ経済発展貿易大臣をはじめとするキルギス政府要人との間で、日本とキルギスと

の経済関係の今後の協力の在り方、課題等について積極的な意見交換を行えたことは、両国間の貿易投資拡大に向けての新しい一歩となったと考えております。

今回のフォーラムには、両国の政府及び企業関係者が出席しておりますので、二国間の新規協力分野の開拓、貿易投資促進等に向けて、積極的に議論を行い、具体的ビジネスへとつなげていくことができることを期待しております。

また、日本から参加の皆様の中には、今までキルギスと直接的な関わりを持つ機会が少なかった方もいると伺っておりますので、この機会に、大変親日的で、他の中央アジアの国に比べて経済移行進展度が高いキルギスの魅力を充分に知っていただきたいと思っております。

経済産業省としては、今後とも、政府間の情報交換や、後ほど説明申し上げる投資環境整備ネットワーク等を通じ、日本とキルギスとの経済関係の発展に向けて努力して参る所存です。

最後になりましたが、今後の日本とキルギスとの経済関係の緊密化を祈念致しまして、私のごあいさつとさせていただきます。